



Vol.54

ASAKURA CONFERENCE OF NURSING
CARE INSURANCE BUSINESS

朝倉
介護保険
事業者協議会

会報

朝倉介護保険事業者協議会 会報
Vol.54 平成28年1月31日発行
(通巻54号)

会長挨拶

新年明けましておめでとうございます。

会員及び特別会員の皆様方におかれましては、輝かしい年をお迎えの事と存じます。旧年中は、行政、関係機関等、多くの方々のご指導ご鞭撻を賜り、又、ご協力を賜り当協議会の事業運営が順調に進める事が出来ました事を感謝申し上げます。本年は、国が進める包括支援の取り組みから、総合支援事業が各自治体毎に開始されます。何かと難しい面もある事と推察致します。今日迄諸先輩方が、積み上げられて来られた包括システムの実績を誇りとして、保健・医療・福祉の結びつきがさらにゆるがないシステムへ成長して行く事を願っています。私共執行部が現在取り組んでいる長年の目標である一般社団法人化へ次年度より進化して行きます。ご利用者様を中心として、各方面の関係者のご指導とご協力を仰ぎながら、当協議会の全体の指針としての役割を全うすべく、執行部役員一同社会貢献に努めて参る所存です。そして、各会員様の満足度の向上を今年も努めて取り組みます。皆様方には、今年1年が素晴らしく良き年でありませう様に祈念申し上げ新年のご挨拶と致します。



会長 出水 清治

副会長挨拶

2016年の年頭にあたり、皆様におかれましてはつつがなく新しい年をお迎えの事とお慶び申し上げます。

昨年の介護報酬改定での介護報酬の引き下げでは各事業所の経営面でのダメージは大きいものと思います。今後予想される2025年には、国民の4人に一人が75才以上の後期高齢者であり、65才以上の5人に一人が認知症となり介護の必要な高齢者が増加します、同じく250万人必要な介護職従事者の不足など介護を取り巻く環境はますます悪化していきます。また昨年は介護事業所での転落事故や虐待など信頼を失うような事件も起きています。当協議会では研修や各部会の活動により会員の意欲や資質向上に努め、各事業所が地域住民との深い信頼関係を築いていければと思っています。



副会長 富田 泰生

今年当協議会も16年目にはいり一般社団法人となります。今一度利用者様の立場に立って心機一転、一致団結して協議会の活動を進めていきたいと考えています。

皆様のご協力をお願いいたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。

協議会ホームページへ今すぐアクセス！ <http://asakura.in>

朝倉介護

検索

副会長就任のご挨拶

明けましておめでとうございます。

この度、矢野四郎副会長の後任に選任されました草場厚子でございます。前任者と違い、介護については全くのど素人でございます。これをご縁と考え、介護について皆様から深く学んで参りたいと思っております。

どうぞ、皆様のお力添えをいただきながら、協議会の副会長としてお育ていただきますようお願い申し上げます。



新副会長 草場 厚子

事業報告 I 第2回スタッフセミナー

朝倉における在宅チーム医療の活動報告

太刀洗病院通所リハビリテーション 楠田 智仙

平成27年9月18日(金)、朝倉市総合市民センター(ピーポート甘木中ホール)で、平成27年度第2回スタッフセミナー「朝倉における在宅チーム医療の活動報告」が開催され308名の参加がありました。

今回は、第1部 田邊庸一氏(田辺医院院長) 第2部 臼杵辰雄氏(臼杵歯科医院院長)を講師に迎え、朝倉における在宅チーム医療の活動報告又、事例の紹介をしていただき分かりやすく発表されました。

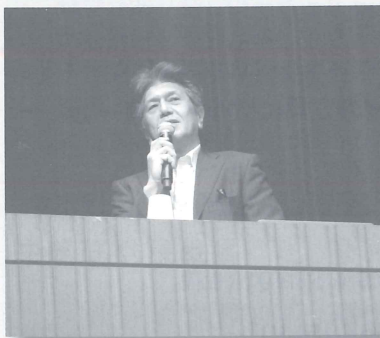


第1部では、在宅医療について説明があり朝倉在宅チーム医療推進委員会の取り組みについて話がありました。多職種の連携研修会から各部門の意見があり活動を知ることが出来ました。そして、在宅医療連携拠点整備・在宅医療相談窓口・在宅医師同行訪問・退院時連携推進・在宅医療機器整備の各事業の説明があり、地域在宅医療推進事業を実感し在宅ケアについて皆が知り考える機会を与えていただきました。地域包括システムにおいて、在宅医療は中心的な役割となり、多職種の連携が大切であると解説された。朝倉における在宅チーム医療の現状や活動を知ることが出来ました。今後、情報を共有し利用者や家族の支援が出来る様に関りたいとの参加者から多くの意見が聞かれました。

第2部では、普段聞くことがない歯科医師による在宅医療の関りについての講演でした。口は、命の入り口であって心の出口でもあると説明がありました。N.S.T(栄養サポートチーム)の解説があり、口腔ケアの重要性を再確認する機会となりました。多職種とのオーラルマネージメントの解説があり、オーラルケアにより生きる支えとなり在宅生活がいつまでも出来る様に支援すること。そして、口腔ケ

アは決して歯科医療関係者だけの単一的なケアではなく、対象患者に関わる全ての職種が口という器官に着目し、その口に最小限の不快と最大限の尊厳がもたらせるように努力しなくてはならないと解説されました。参加者の意見の中に今後の在宅医療の充実にも繋がる内容であった。また、ブラッシングや紙コップを実践したいなど多くの意見がありました。

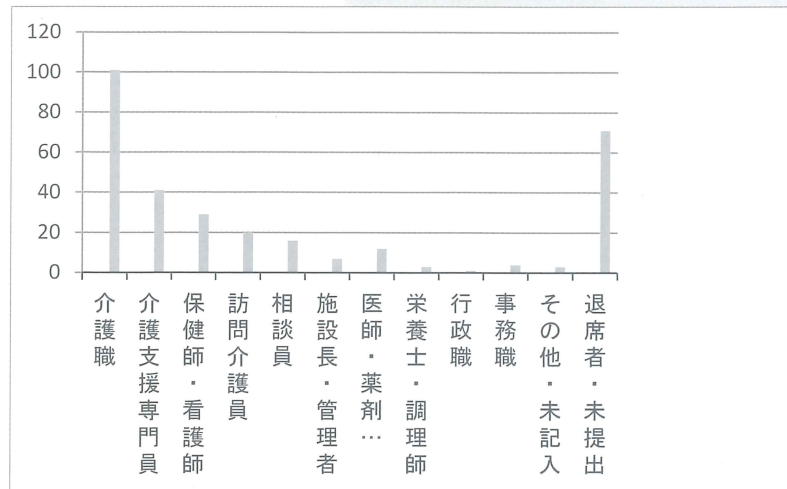
医師・歯科医師の日々の取り組みを伺い、参加者も在宅医療について知ることが出来た貴重な機会となりました。



事業報告 I 第2回スタッフセミナー アンケート結果

(1) 参加者の状況

参加者数308名		
一般		
1	介護職	101
2	介護支援専門員	41
3	保健師・看護師	29
4	訪問介護員	20
5	相談員	16
6	施設長・管理者	7
7	医師・薬剤師・PT・OT・ST	12
8	栄養士・調理師	3
9	行政職	1
10	事務職	4
11	その他・未記入	3
12	退席者・未提出	71
	合計	308



(2) アンケートの集計

① 勤務されている業種

業種	人数
居宅介護支援	31
訪問介護・入浴	21
訪問看護	9
訪問リハビリ	6
通所介護	27
通所リハビリ	15
支援センター	1
居宅療養管理	3
グループホーム	21
介護福祉施設	35
介護保健施設	49
小規模多機能	4
病院・医院	3
行政	4
福祉用具貸与・住宅改修	
その他	8
合計	237

② 現在の職種

職種	人数
介護職	101
相談員 (病院・施設・福祉用具貸与)	16
訪問介護員	20
介護支援専門員	41
看護師	27
保健師	2
OT	2
PT	5
ST	1
医師	1
薬剤師	3
栄養士	3
調理師	
管理者	7
事務職	4
行政職	1
その他	3
合計	237

③ 経験年数

経験年数について		
1	1年未満	16
2	1年以上3年未満	37
3	3年以上5年未満	30
4	5年以上10年未満	60
5	10年以上	86
6	未記入	8
	合計	237

④ 講義内容について

アンケート回答者数 237名		
1	非常に良かった	32
2	良かった	124
3	どちらともいえない	33
4	あまり良くなかった	11
5	未記入	37
	合計	237
	アンケート回答率	76.9%

(3) ご意見をお聞かせ下さい(一部抜粋)

① 講義内容に関するご意見	全体で154件
	<ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携との事で、色々な仕事の内容を情報共有して展開していくことが大切だと改めて感じさせられました。 ・在宅ケアで行われている利用者様にとって良い点が多数あることが理解できました。現場に活かして行きたい。 ・利用者自身は在宅生活を多く望んでいると思いますが、利用者自身のサポートも必要ですが、一番は家族の在宅介護ができる環境、支援が必要になってきます。家族は生活をするため就労されていることが多く、働きながらでも在宅介護を継続できる支援体系を福祉・医療共に構築する必要があると思います。 ・朝倉における在宅チーム医療の活動を知ることができた。地域の活動は、知らせる事、それを知り得た方達が別の方へ伝え大きなチームとなり、広がって行くこと、それが地域への大きな支えとなることを期待しています。 ・歯科医師からの講演はあまりなかったので参考になりました。また今後の在宅医療の充実にもつながる内容だと感じました。 ・とても良かったです。介護福祉士国家試験の為に介護の勉強で少し在宅医療について教えて頂きましたが、あまり分らなかったもので、田邊先生のおかげで分かるようになりました。オーラルマネジメントについて良い勉強になりました。 ・在宅ケアのチームとして、特に寝たきりの方、ターミナル期の方への口腔環境の大切さは分かっているけれども協働する場面が少なかったため、今後は連携したいと思いました。

②今後のスタッフ セミナーの 内容・在り方	全体で43件
	・他の地域などの珍しいやり方等を紹介して頂きたい。
	・行政の方のセミナーをお願いしたい。(今後の介護保険サービスの動向など)
	・医師だけでなく看護、理学療法士等のセミナーであつても良いと思った。
	・前年度同様のペースで開催されても良いと思う。たくさん学ぶ機会はとつてもありがたいです。
	・18:45位であれば日勤の仕事がなんとか終わるので、この時間位の開始でお願いしたい。
	・事例を通してする側、受ける側の現状等、家族の関わりを含めて聞きたいと思いました。
	最近、介護現場の質の低下が問題になっているため、モラルの向上が重要なのではないか(地域で虐待や死亡事故を出さないためにも)行政から虐待や死亡事故についての報告をしてもらつては?
	・最大限、利用者様へのケアができる内容を多種にわたつて今後も行って頂きたい。
	・今後も在宅医療に介護の入る医療福祉連携について考えて行けたらと思います。
	・特養、デイ、ショート等、監査での必要事項、それに基づく書類整備をどのあたりにポイントをしばれば良いかを教えて欲しい。
	・今回のように普段関わらない業種からみての講演だった場合、その講演種類の内容をもっと分かりやすくお願いしたい。
③協議会への 要望等	全体で18件
	・様々な面からのセミナーを展開して頂きたい。
	・研修時間がもう少し短いとありがたいです。
	・ただ聞くだけでは、あまり面白くない。
	・褥瘡予防の研修会、人材不足対応の工夫のような研修や最新公表のレンタル機器の照会など。
	・テーマに惹かれて参加しました。医療・介護・他職種の関わりで利用者のQOLが高められるようにこれからも情報提供を発信して欲しいと思います。
	・義務で参加するセミナーではなく、本当に自己研鑽で参加したいと思える内容が欲しい。
	・チームコミュニケーション、現場での申し送りが上手に行く方法やコツ。
	・デイ、ケアマネとの意見交換会(デイ特徴等をプレゼン)の機会を作つて欲しい。
	・朝倉地区にこれだけチーム医療が実践できていることを知りよかつた。今後も地域・在宅医療の連携について研修したい。
	・タイムリーな虐待問題などはどうでしょう。事例が欲しいです。
	・場が明るくなる笑顔についての講演会を是非してもらいたい。

事業報告 II 部会活動報告

介護老人福祉設部会

特別養護老人ホーム水月吉井 河角 成明

介護老人福祉施設部会は朝倉を中心に北筑後の16施設が参加して活動しています。実務担当者情報交換会として年間5回の部会活動を行い、最新情報の交換や各施設の問題点や取り組みを専門的に話し合い、改善向上に努めています。

施設長との合同部会や相談員、介護支援専門員、介護リーダー、介護職員、看護職員、栄養士・厨房職員、事務員など各施設の専門職による情報交換会も年間2回～6回程度実施し、分野別の専門的な視点での意見交換や資質向上への取組を行っています。

介護職員による専門部会ではテーマを定め研究発表を行う等、介護老人福祉施設全体の資質向上に資する取組を行ってきました。

部会では朝倉医師会医療専門職との意見交換会や介護保険制度改正勉強会、地域包括ケアシステム・日常生活支援総合事業へ向けて介護老人福祉施設として取り組む課題等を話し合ってきました。

今後も介護老人福祉施設は中重度の要介護高齢者の終の棲としてご利用者、ご家族様と密接に連携し住み慣れた地域の中でその人らしい生活を支える場所を提供できるように努めてまいります。

Hobby Box

～今シーズン～

介護老人保健施設 城山荘 木村 小百合

趣味は『スポーツ観戦』。よく自己紹介に使っていますが、特別詳しい訳でもなく、それでも色んなスポーツを見ます。もっぱらテレビ観戦ですけど。

ラグビー W 杯での日本は、24 年ぶりの勝利を強豪南アフリカ相手に挙げ、世界中を驚かせました。ゴールを狙うポーズが話題の五郎丸選手の活躍から、西鉄甘木線「五郎丸」駅に観光客が集まるようにもなったとか。テニスの錦織選手は世界ランキング 4 位まで上がり、世界水泳では瀬戸選手が 400M 個人メドレーで日本人初の連覇、「国技？」と疑うほど外国人が上位に位置取っている相撲界も、低迷していた人気を取り戻し「満員御礼」が出るようになりました。他にもバレーボール、マラソンや駅伝、サッカー、スケート…観戦するには時間が足りません。

地元球団としてすっかり根付いた福岡ソフトバンクホークス。私は短縮してバンク！と呼んでいます、選手に掛ける資金も孫さんが頑張ってくれているので安泰です。そのバンクを、秋山監督から引き継いだ工藤監督が連覇へと導き、リーグ優勝の最も早い時期の記録を塗り替えました。

記録の更新と言えば、西武ライオンズの秋山選手は安打記録の更新、ヤクルトの山田選手は日本シリーズ同一試合での史上初 3 打席連続本塁打、中日の谷繁選手兼監督は最多出場記録を更新、等々ほんとにびっくりポンです。

やっぱり趣味は『野球観戦』になるのかなあ…「バンクファン」と「野球ファン」、区別して考えたい私ですが、退職後の夢はプロ野球球団本拠地巡りです。



My Way

ローズ倶楽部甘木の小野 るり子さん



私と小野さんの出会いは、お互いがホームヘルプ担当をしていた平成 12 年頃だったと思います。もう 15 年も過ぎたことに月日の経つのは早いものだと思改めて実感しました。彼女は、頑張り屋さんであつという間にケアマネジャーの資格を取り、今も利用者の方のもとへ足繁く訪問しています。

いしずえ荘訪問時、会うとちょっと顔をかしげて右手を 2 ～ 3 回振ってにこっと笑ってくれます。その笑顔がホットした気持ちにさせてくれます。彼女の好いところだなといつも感じます。利用者の方との会話も同じ目線で、頷きながらゆっくりと最後まで聞いている様子で、利用者の方も笑顔で話されています。「小野さんはいつもよく話を聞いてくれるし、面白い人よ」と言われます。

体型も変わらず、いつも明るく、フットワークも軽く、訪問が多い為、夏は、万全の日焼け予防対策をとり仕事をこなしている彼女は澁刺としています。お孫さんがいる様には見えません。彼女も私も犬が大好きで飼っていますが、孫ができるまでは、犬の方が可愛いと思っていました。が、実際、「生まれてみるとやっぱり他の方の言うとおり孫が可愛いよね」とバアバの会話をしています。ストレスが溜まったら、お互いアルコールで発散しています。

これからも澁刺とした小野さんでいて欲しいなと思っています。

紹介文：いしずえ荘 妹川 綾子

次回は小野さんからの紹介「有限会社 ホット・オアシス 重松 ふみ子さん」です！

介護スタッフリレーコラム

「日々是精進」

グループホーム ローズハウスいしずえ 高原 美智代

介護の世界に足を踏み入れたのは12年前の、ヘルパー2級の研修を受けた時、今でも覚えている講師の言葉、「介護をするときは女優になりなさい！」

想定される様々な場面で、ご利用者が求める安心のケアをする為の手立てとして使う技術の事です。忘れ行く記憶、思いのままならない自分自身と向き合い不安を抱えておられるご利用者が、少しでも穏やかに過ごせるように、優しく見守り、寄り添い、その表情や仕草から、何を求めているかを察し、自然体で対応できるように心掛けています。

実は私事ですが、家庭でも介護認定を受けている家族を抱え介護をしており、職業人として、家庭人として、介護漬けの毎日です。こんな中、新たに始めた手話を学びながら聾者との交流や、趣味である手芸を楽しみ、気分転換を図っております。

これからも、ADLを低下させることなく、より良いQOLの向上を目指していくこと、「日々是精進」 私なりの心構えです。

徒然日記

一般社団法人朝倉医師会 介護支援センター 福田 輝和

～先輩～

私は理学療法士になって20年、朝倉医師会に務めて約15年になります。

こうも長く務めると、なかなか相談する方も居なくなり責任者として弱いところは見せないようにと頑張る毎日になってくるものです。

しかし、昨年4月から介護支援専門員としても働くこととなりました。この歳になって、いわゆる新米です。新しい介護支援専門員証を首から下げ、今までと違う業務内容。利用者様への対応も、何か今までと違って新鮮でした。

そしてなにより、先輩が出来たこと。なんと4人も。同期も1人。

試験を受け講習を受けたとはいえアドバイスがないと、何をどうしていいのやら…。そんな時に、いつも支えて頂き助けて頂き、先輩っていいなあと思えました。本当に、新鮮な昨年でした。理学療法士の免許をとって、初めて働き始めたあの頃を思い出しました。

「初心忘るべからず」という言葉を改めて実感しました。また相談する方がいる、先輩がいるという事の安心感、感謝の気持ちを感じました。

この分野の仕事は毎日が不安や悩み、重圧やストレスがあり愚痴もつきものです。そんな時に必要なのは先輩方の存在です。事業者協議会もそんな存在になれるよう、自分なりの役割が出来ればと感じています。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年は暖冬で冬にしては暖かい日が続いていましたが、1月半ばに積雪があり厳しい天気となってしまいました。今後インフルエンザの流行が懸念されますので、うがい・手洗いを励行し十分注意していきましょう。

さて、来年度は当協議会の一般社団法人化の初年度になります。法人化に際し組織を盤石にする背景には、医療・介護の連携を更に強化し、医療・介護を必要としている利用者様地域の皆様に更なる満足を提供できるよう事業所間の連携と職員の質の向上を図る目的もあります。本年も皆様と共に力を合わせよい年にしていきましょう。本年もよろしくお願い致します。(真田)

事務局

朝倉介護保険事業者協議会 事務局
〒838-0022 福岡県朝倉市城 859
社会福祉法人 宏志会
介護老人福祉施設 きらく荘
TEL(0946)21-1833 FAX(0946)21-1883

編集／発行所

朝倉介護保険事業者協議会 広報部
〒838-1702 福岡県朝倉郡東峰村福井 942-1
社会福祉法人 朝倉恵愛会
介護老人福祉施設 宝珠の郷
TEL(0946)72-9811 FAX(0946)72-9813
印刷／井上総合印刷株式会社